



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

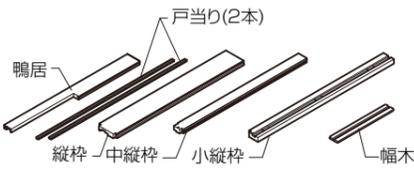
●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと、本体が脱落するおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- 本製品は、床先張り（枠後付け）専用です。縦枠の切詰めは不要です。
- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚（111～141mm）、厚壁用は壁厚（142～182mm）に取付けられます。
- ノンケーシングタイプ NC115は壁厚（76～100mm）、NC156は壁厚（116～130mm）、NC171は壁厚（131～145mm）、NC180は壁厚（146～160mm）に取付けられます。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくらせてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木には合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- ガイドピンは取付け順序「**5**ガイドピンの取付け」にしたがい取付けてください。本体の開閉操作に支障が出る原因になります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないよう（特に中縦枠）注意してください。
- 本体にガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。
- 本製品は上吊り方式のため、梁又はまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面の梁又はまぐさをご使用ください。
- 梁又はまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。
- 枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。
- 鴨居の躯体固定ねじを締めすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合はねじをゆるめてください。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

引違い用本体	引違い用枠	片引き用本体	片引き用枠
			
	引違い用床見切り		片引き用床見切り
			
	引違い用ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)		片引き用ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)
			
1枚梱包×2		1枚梱包	

■ 枠セット

		引違い	片引き
枠	鴨居	1	1
	縦枠	2	1
	中縦枠	—	1
	小縦枠	—	1
	幅木	—	1
	戸当り	4	2
部品セット	引違い用	1	—
	片引き用	—	1

■ 部品セット

枠セット用

	片引き	引違い
組立て用皿小ねじM4×50	4本	4本
鴨居取付用トラスタッピンねじΦ4×50	5本	6本
縦枠取付け用DNビス皿木ねじΦ3.8×50	6本	6本
ガイドピンセット(皿タッピンねじΦ3.5×20同梱)	1セット	2セット
吊車	2個	4個

床見切り用

	片引き	引違い
床見切り縁用ガイドピン	1	2
床見切り縁用ガイドピンカバー	1	2
ガイドピン取付けねじΦ4×40	2	4
なべタッピンねじΦ4×30	6	6

■ 引戸錠セット

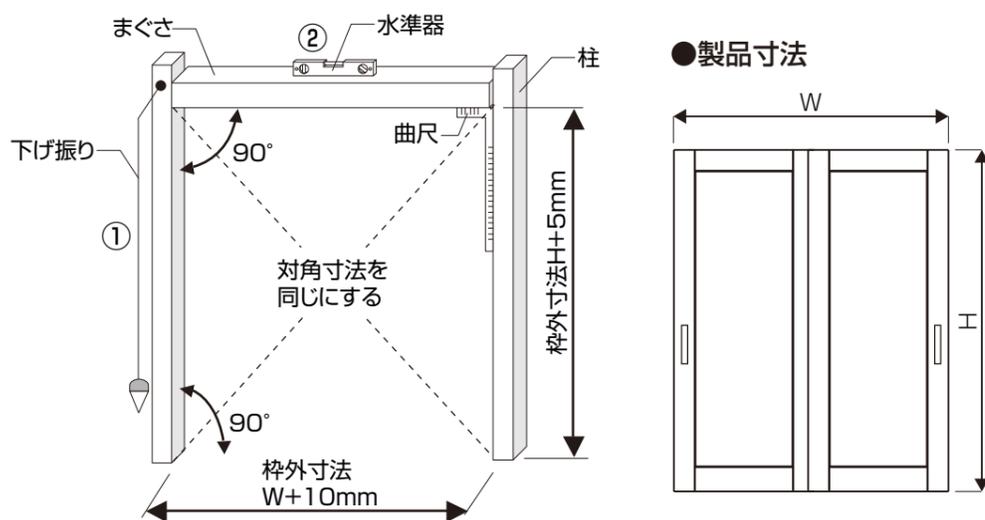
サムターン本体	1個
サムターン取付け用皿小ねじM3×10	2本

■ 開口部の作り方

■ 開口部寸法の出し方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

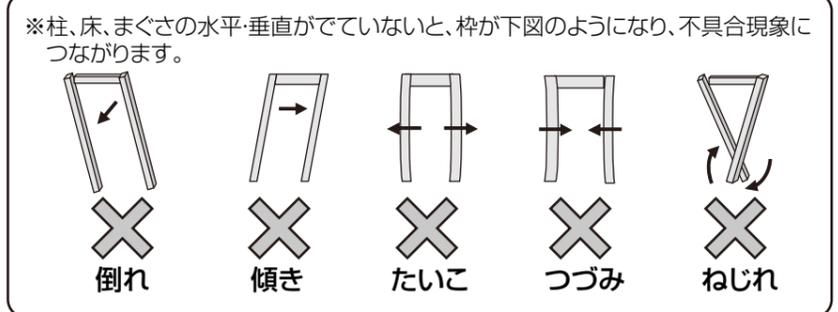
※本製品は上吊方式を採用しています。梁(まぐさ)は、強度を要するため、NC115の場合は断面寸法50×180(mm)、NC115以外の場合は105×180(mm)以上を使用してください。鴨居の垂下がりの原因になります。



■ 壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ (単位:mm)

	ケーシング(足寸法)	対応壁厚
薄壁用	8	111~121
	14	122~133
	19	134~141
厚壁用	8	142~148
	14	149~160
	19	161~170
	25	171~182

- ① 下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ② 水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。



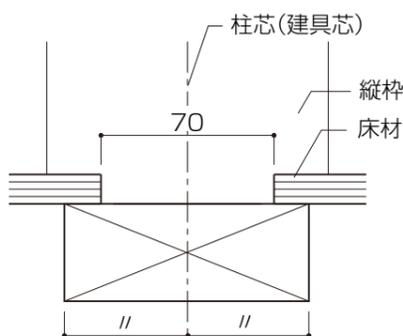
■ 床の張り方

※本製品は床先張り(枠後付け)専用です。枠の取付け前に床を張ってください。

〔床見切りを使用する場合〕

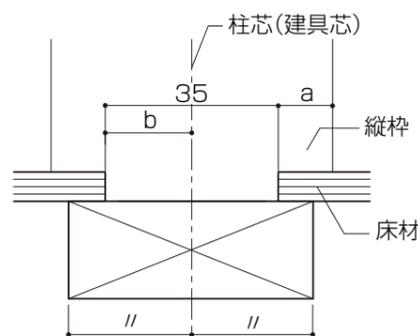
● 引違い

※床材は、柱芯(建具芯)を中心に70mmあけて張ってください。



● 片引き

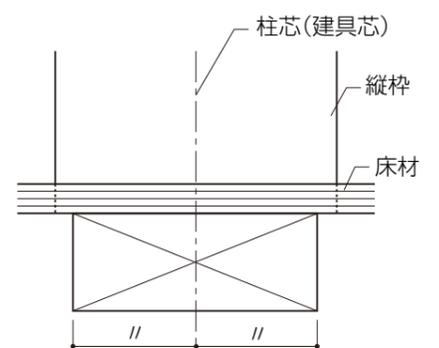
※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側に35mmあけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所に35mmあけて張ってください。



(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法
NC115	22.5	0
NC156	43	0
NC171	58	7.5
NC180	67	12
C付115(薄壁用)	22.5	0
C付142(厚壁用)	49.5	13.5

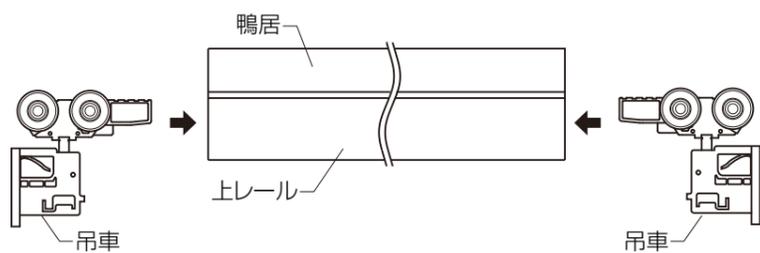
〔床見切りを使用しない場合〕



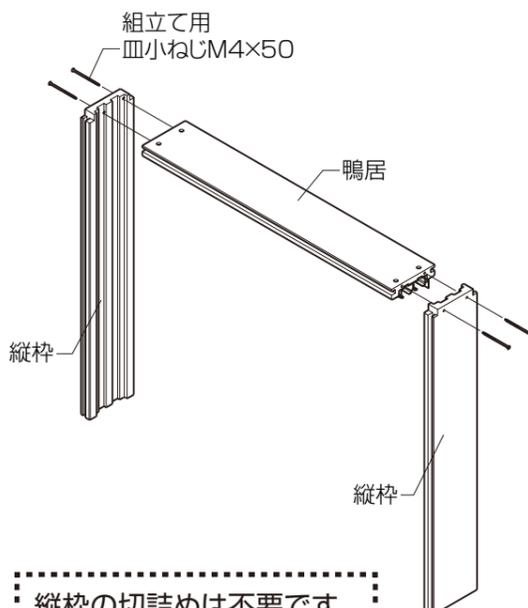
■取付け順序

1 枠の組立て

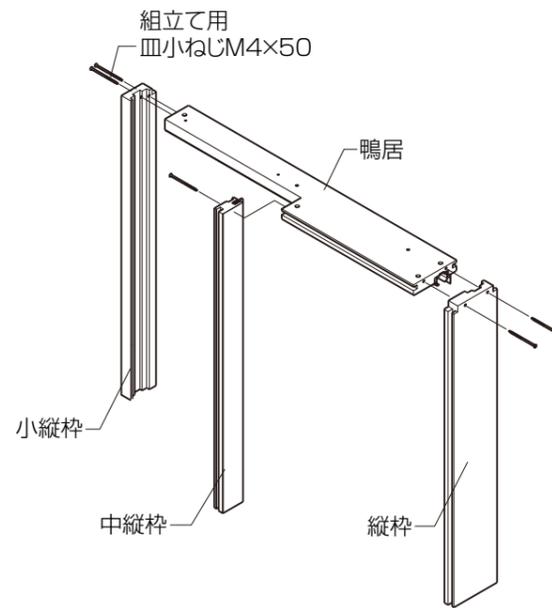
- ①吊車を互いちがいの向きにして、上レールの各木口よりそれぞれ挿入してください。
- ②図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ（皿小ねじM4×50）で固定します。



●引違い枠



●片引き枠



お願い

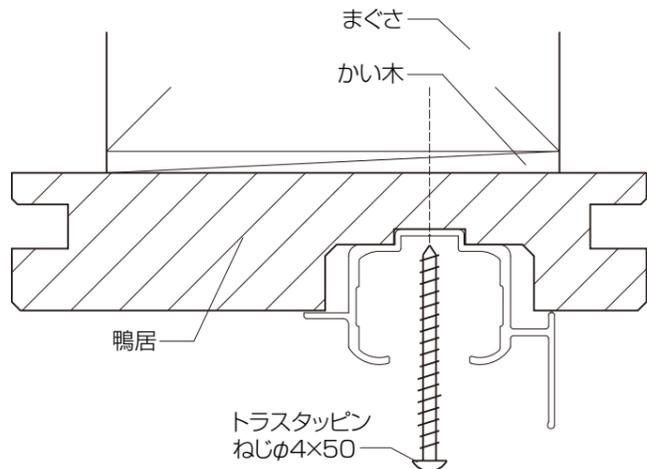
※枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。
吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

縦枠の切詰めは不要です。

2 枠の取付け

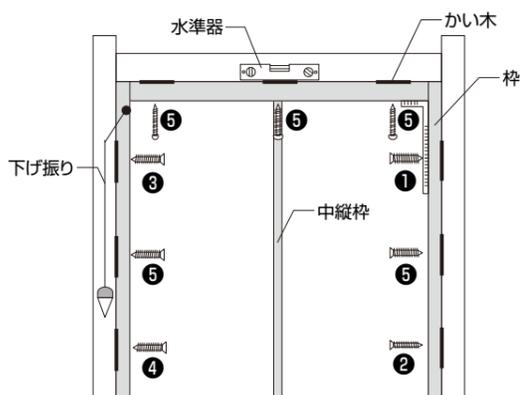
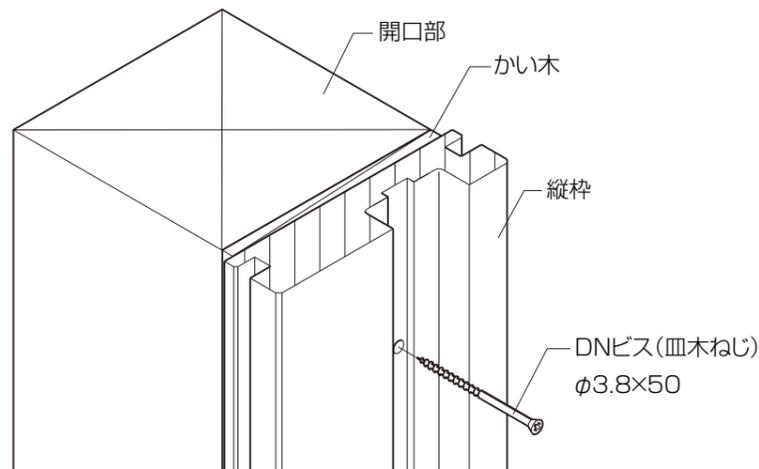
●鴨居

※鴨居はトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。



●縦枠・小縦枠

※DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。

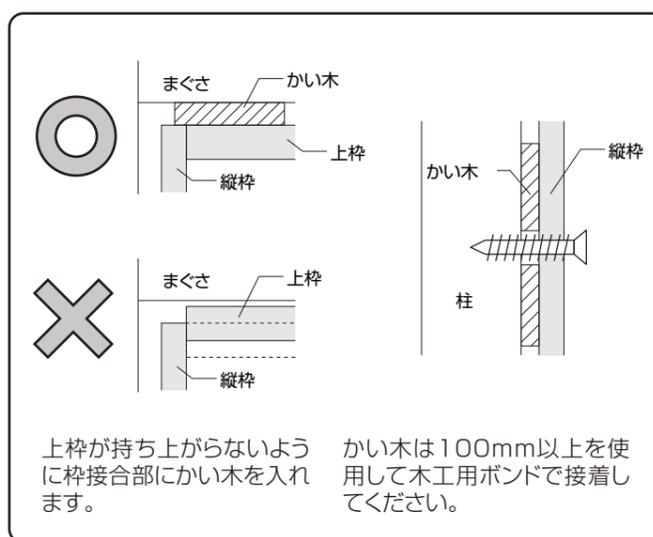


※中縦枠が曲らないように注意してください。
※中縦枠の固定方法は次ページを参照してください。

- ①枠を開口部にはめこんで、上枠の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
 - ②下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
 - ③水準器で上枠の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
 - ④下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
 - ⑤枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。
- ※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、現場手配の木ねじで躯体に固定してください。

お願い

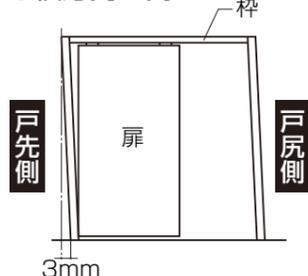
※枠の倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。



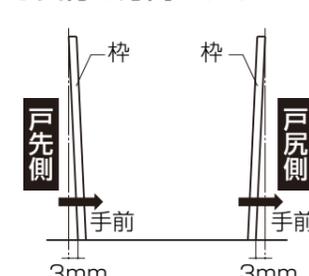
■取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれ・枠のタイコ・ツツミが図の寸法をこえる場合は、取付けを修正してください。

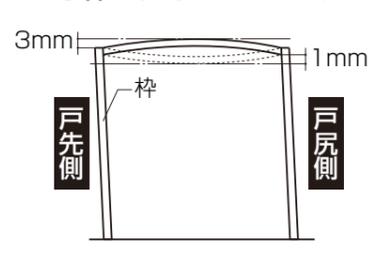
●横方向の倒れ



●奥行き方向のねじれ



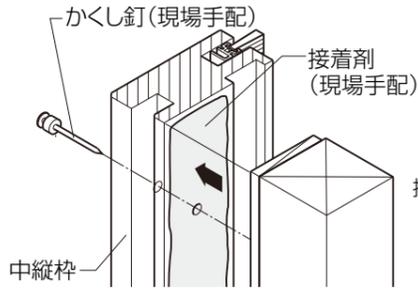
●枠のタイコ・ツツミ



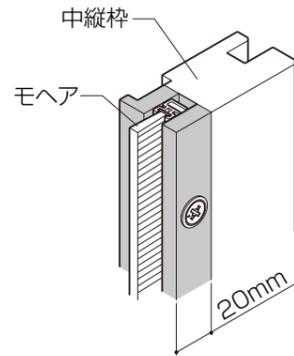
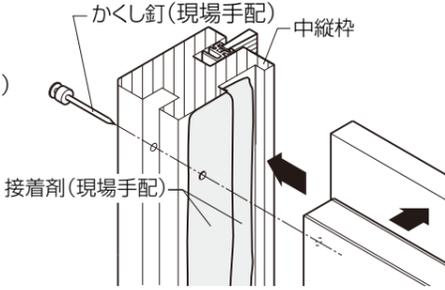
※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘(現場手配)で固定します。

中縦枠を固定する際釘やタッカーをモヘア側から表裏20mmの斜線部には打たないでください。
中縦枠にはモヘアを調整する機能が付いているため部品が破損し調整出来なくなります。

●中縦枠



●NC115中縦枠



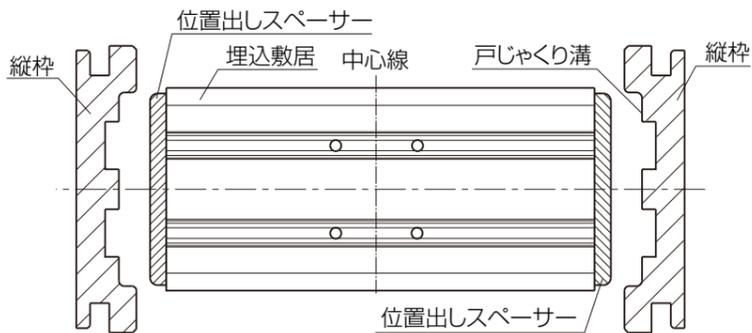
※床見切り縁を使用しない場合
中縦枠の位置出しには、同梱の幅木(正寸カット済み)を使用してください。

●お願い

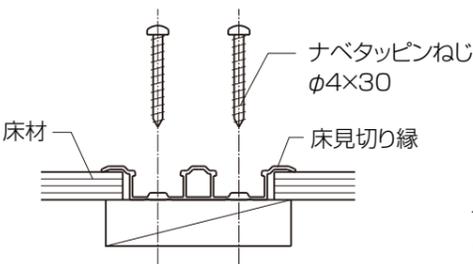
- ※本製品は上吊り方式のため、梁又はまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面の梁又はまぐさをご使用ください。
- ※梁又はまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。
- ※鴨居の躯体固定ねじを締込みすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合はねじをゆるめてください。

〔床見切り縁の取付け〕

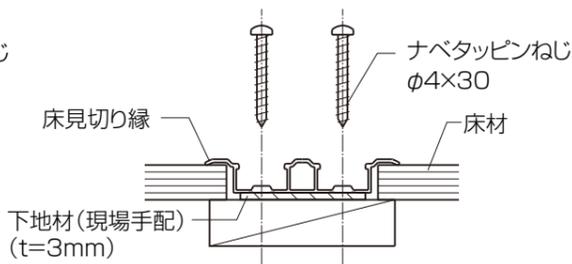
- ①縦枠下部に取付けてある戸先側振止めをいったん外します。
 - ②床見切り縁に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ③同梱のねじで固定します。
- ※溝部の中心部の2箇所は床見切り縁用ガイドピンをのちほど取付けますので、あけておきます。
- ④戸先側振止めを取付けます。



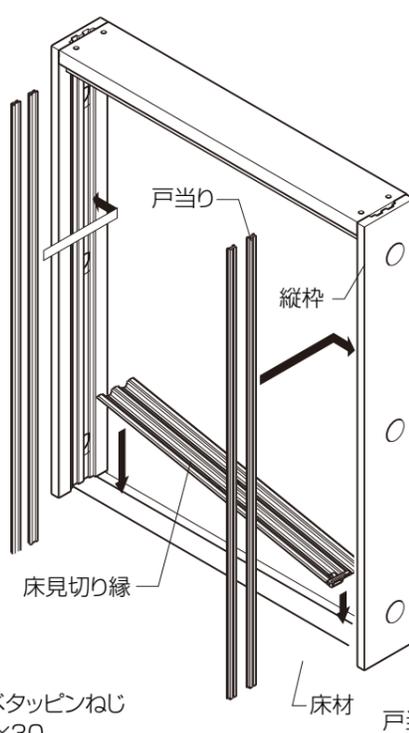
●床材厚さ12mm



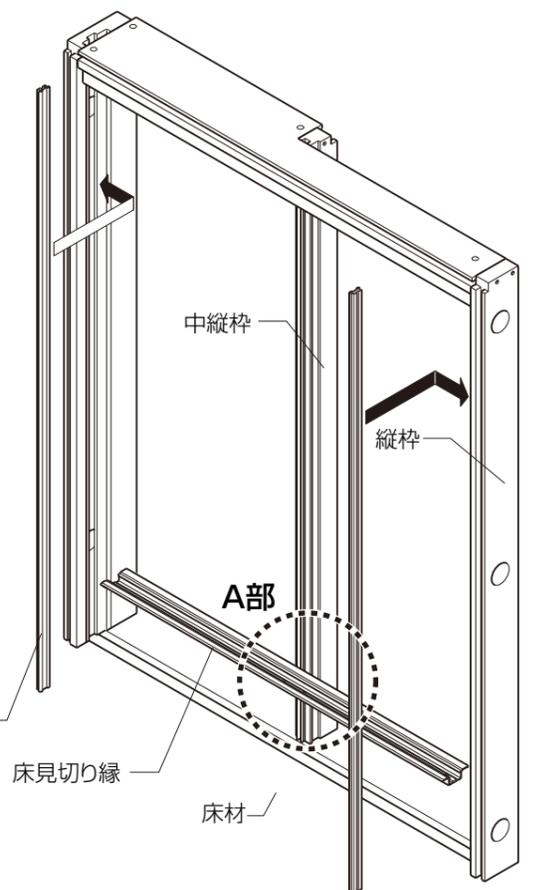
●床材厚さ15mm



●引違い

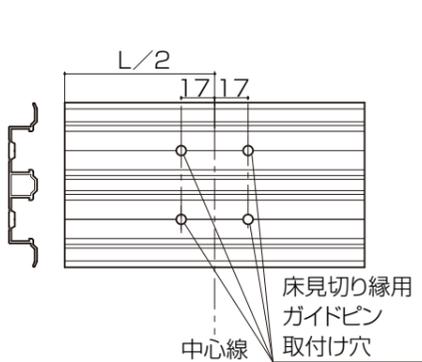


●片引き

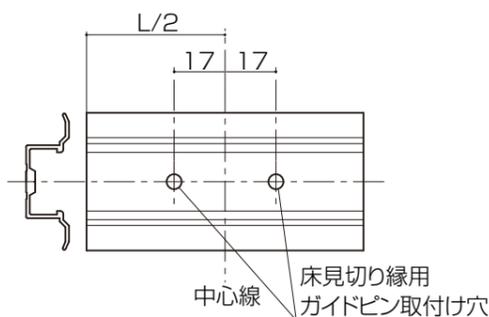


※床見切り縁取付け穴と床見切り縁用ガイドピン取付け穴を間違えないように注意してください。
下図は床見切り縁用ガイドピン取付け穴位置です。

●引違い用床見切り縁

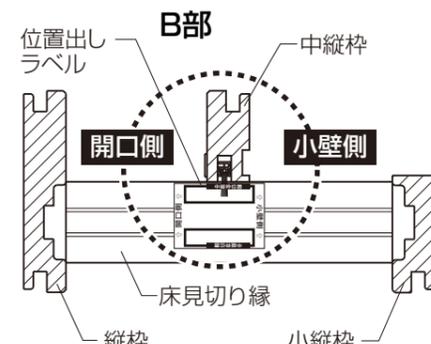


●片引き用床見切り縁(標準・幅狭)



■A部詳細

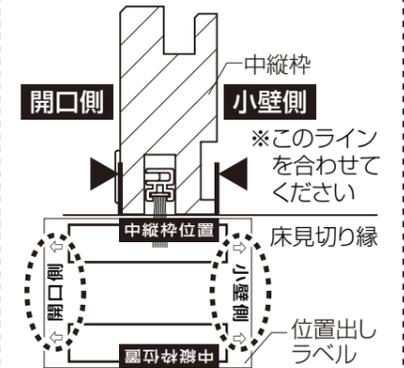
●片引戸の場合、中縦枠の位置出しは、床見切り縁の位置出しラベルに合わせて取付けてください。



※片引戸の床見切り縁は左・右勝手を兼用しています。

中縦枠位置出しを行うため、床見切り縁を設置する際は、ラベル記載の開口側と小壁側の向きを合わせて取付けしてください。

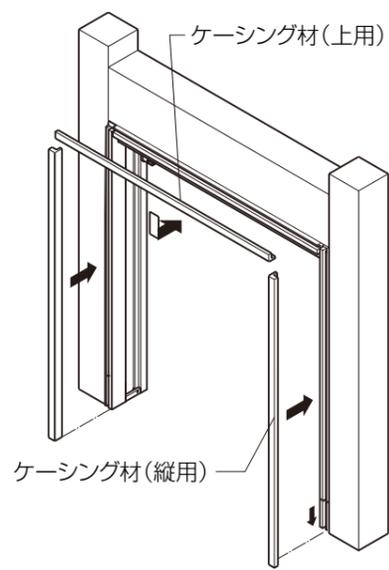
■B部詳細



3 ケーシング材の取付け (ケーシングタイプのみ)

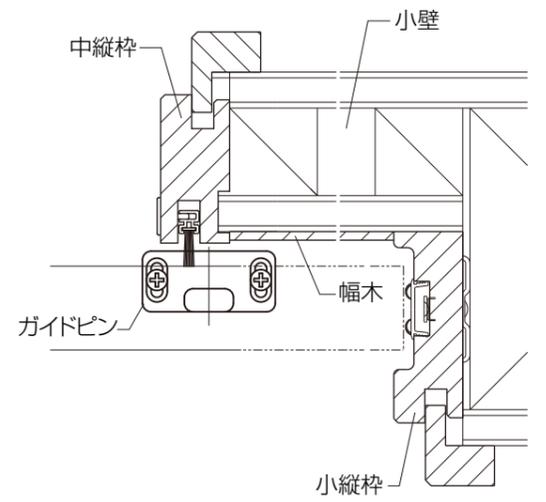
※壁材・床材を仕上げたからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。



4 幅木の取付け(片引きのみ)

※片引きには小壁のボードと床材を見切るために幅木が同梱されています。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤（現場手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは200～300mmです。



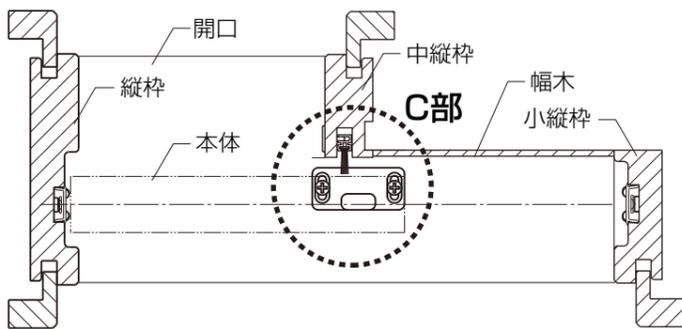
5 ガイドピンの取付け (床見切りを使用しない場合)

●ガイドピンを枠に同梱のねじ（皿タッピンねじφ3.5×20）で床材に固定します。
※機種により取付け位置が異なります。必ず下記の説明をお読みください。
※本体の開閉操作に影響が出ますので、C部・D部詳細図にしたがって取付けてください。

1 片引き(標準・幅狭)の場合

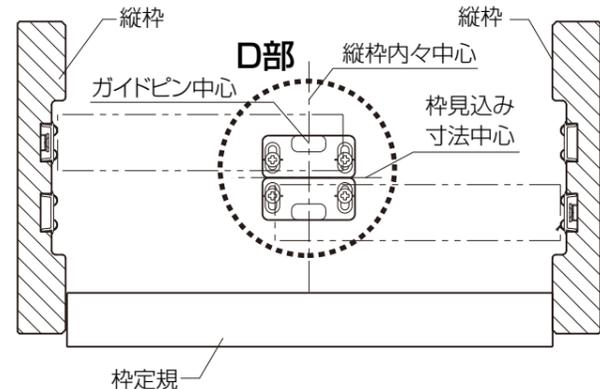
●図の位置および向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴（2カ所）の凸印（ライン）の位置にねじ止めしてください。

※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と左右対称の位置となります。



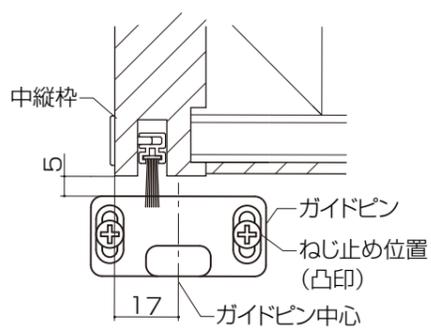
2 引違いの場合

●図の位置および向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴（2カ所）の凸印（ライン）の位置にねじ止めしてください。

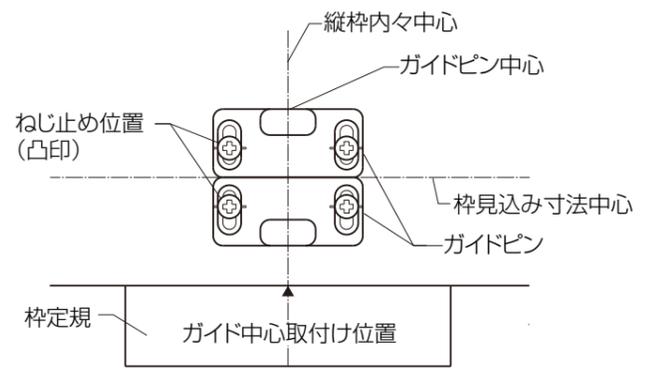


■C部詳細図

●標準・幅狭の場合



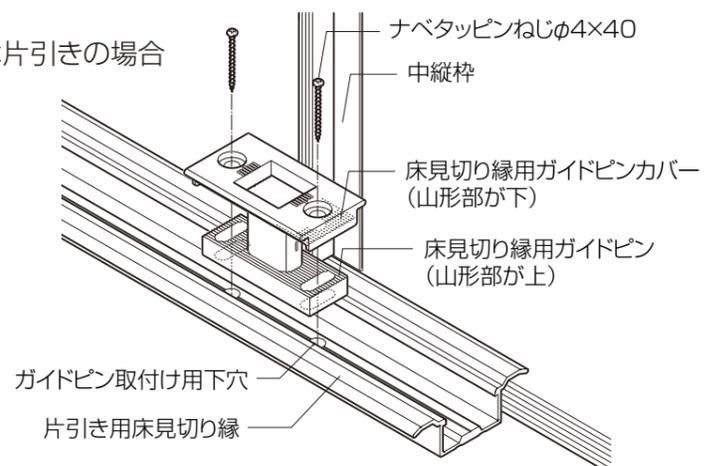
■D部詳細図



(床見切りを使用する場合)

●床見切り縁を使用する場合も同梱のねじ（ナベタッピンねじφ4×40）で固定します。床見切り縁にガイドピン取付け用の下穴が、前図のようにあらかじめあいていますので、ガイドピンカバーとガイドピンの中心を合わせて右図のように固定してください。

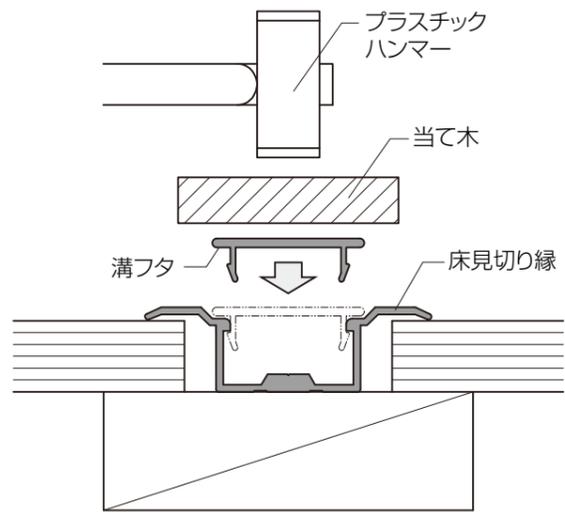
※図は片引きの場合



6 溝フタの取付け(床見切りを使用する場合)

※床見切り縁および床見切り縁用ガイドピンが正しい位置に取付けられているか確認してください。

- 溝フタの端部が、床見切り縁用ガイドピンカバーにかからない位置に合わせて当て木をし、プラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



7 戸当りの取付け

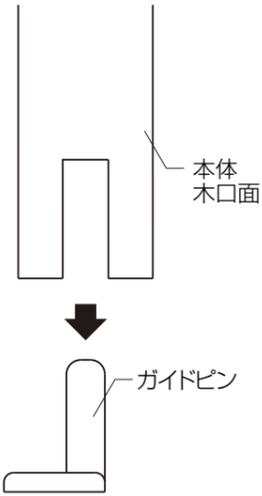
●戸当りに接着剤(現地手配)を付けて溝をふさぎます。

※戸当りは必ず床見切り取付後に取付けてください。

8 本体の吊込み

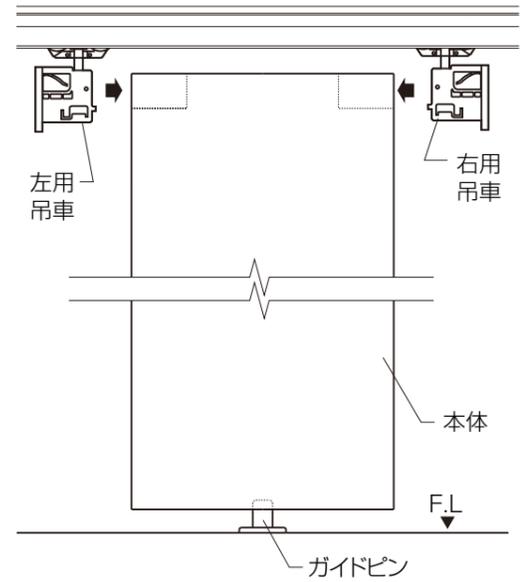
※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

- ①本体を持ち上げて、本体下部の溝にガイドピンを入れます。



- ②片側ずつ吊車を本体に水平に押し込むと、ワンタッチで取付けられます。

※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。



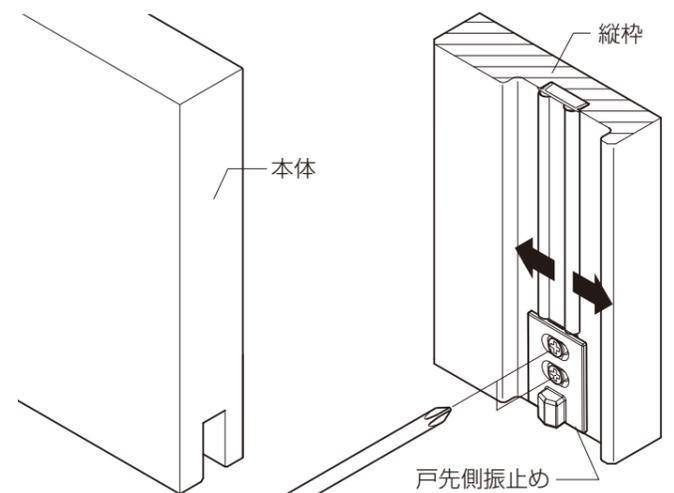
- ③縦枠戸先側振止めの位置を調整します。本体を閉めて、戸先側振止めが本体下部キャップとはめ合わせを確認してください。入らない場合は戸先側振止めのねじをゆるめて、位置を調整してください。

▲ 注意

- 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと、本体が脱落するおそれがあります。

■ 戸先側振止めの調整方法

- 上下2カ所のねじをゆるめ、戸先側振止めを平行に動かした後、ねじを締めて固定します。



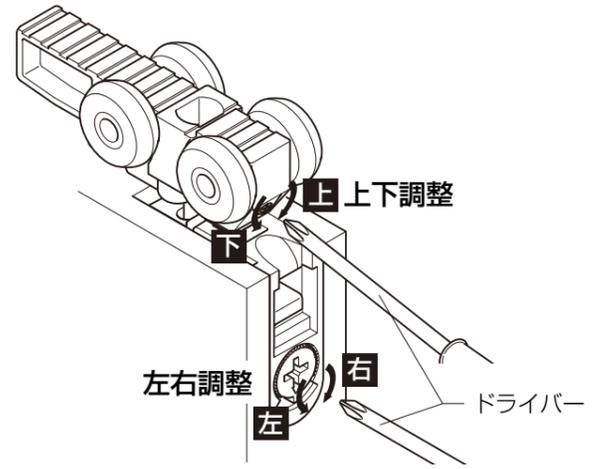
■引戸本体の調整

〔上下調整(調整幅+4mm、-1mm)〕

- プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。
※本体を下げすぎるとガイドピンベース部と本体が当たりますので、下げすぎないでください。

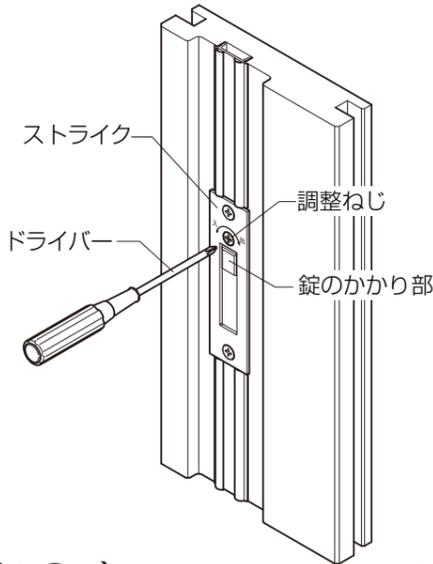
〔左右調整(調整幅±2mm)〕

- 左右調整は片引きの場合、中縦枠と本体のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ9mm)に実施してください。引違いの場合、本体同士のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ7mm)に実施してください。プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が右へ動き、右に回すと本体が左に動きます。
※左右調整した場合は、本体が常に垂直になるようにガイドピンおよび縦枠下部の戸先側振止めの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。

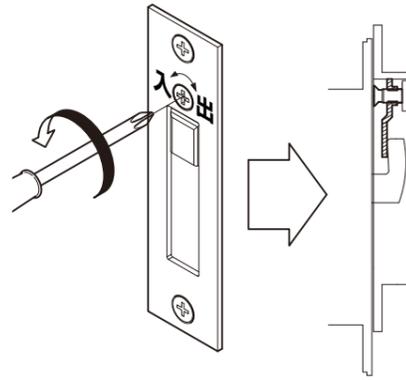


〔引戸錠のかかり調整〕

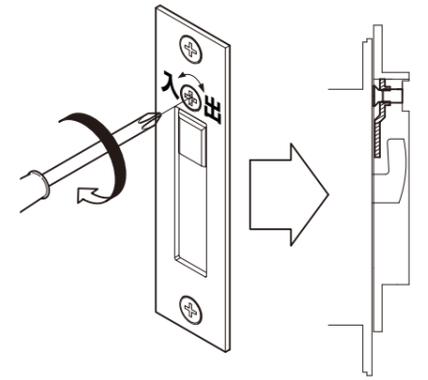
- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



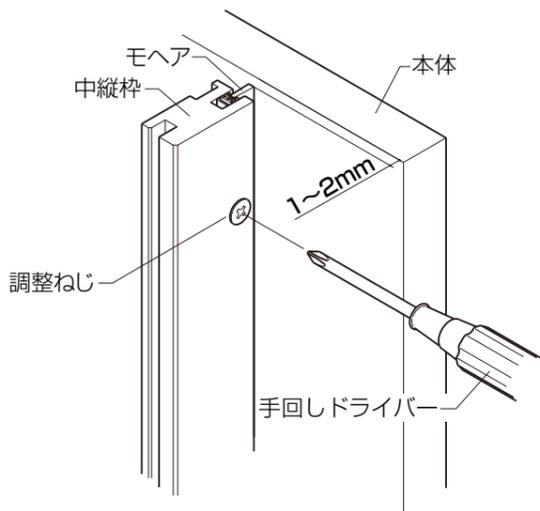
- 本体と枠のすき間が大きい場合
調整ねじを左に回して調整してください。



- 錠がかかりにくい場合
調整ねじを右に回して調整してください。



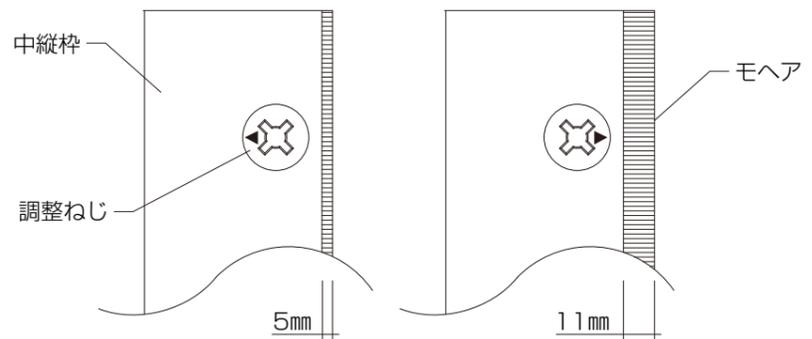
〔中縦枠の調整〕(調整代+6mm)



※本体とモヘアのすき間が1~2mm程度になるように調整してください。

出荷時には輸送時のモヘアの折れ曲がりを防ぐためモヘアを最も引っ込めた状態で出荷しています。

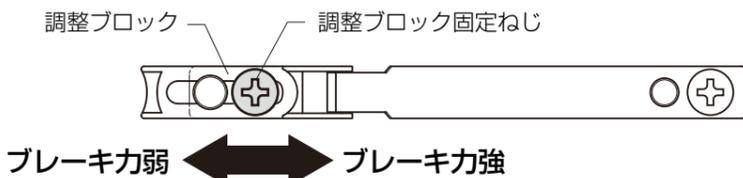
- ①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
- ②調整後、本体とモヘアの先端が1~2mmのすき間が確保されているか確認してください。



調整ねじの▲マークがモヘア側に向いている時がモヘアが最も出ている状態で、逆に向いている時が最も引っ込んでいる状態です。

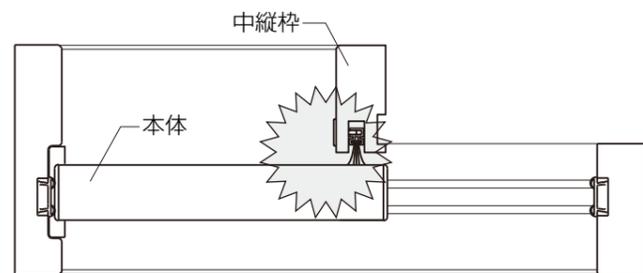
〔ブレーキ力調整〕

- 上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ブロック固定ねじを2回転まで緩め、調整ブロックをスライドさせて、ブレーキ力を調整してください。調整後は、固定ねじを締めてください。



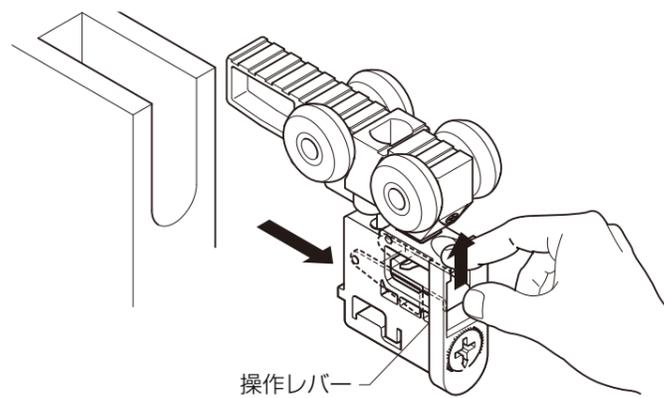
※本体と中縦枠モヘアが接触しすぎると、開閉が重くなります。

●片引き



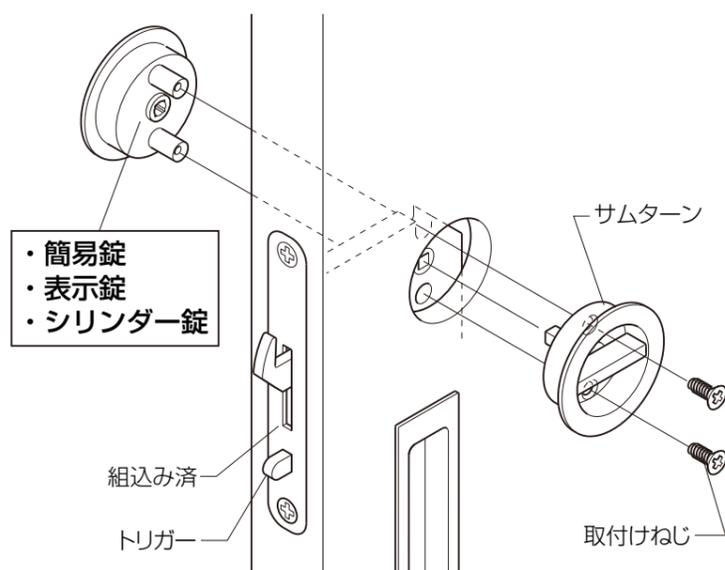
■本体の取外し方法

- 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。
- ※取外しがやりにくい場合は、マイナスドライバーなどを使用して操作レバーを押上げながら引抜いてください。



■引戸錠（サムターンの取付け）

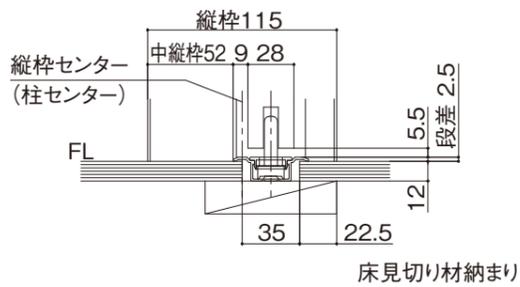
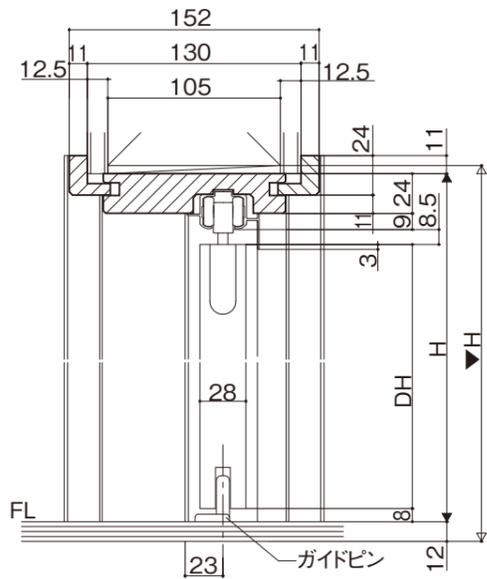
- 別売りの錠を下図のように組立ててください。
- ※取付けねじを締める時に、いったんトリガーを押えて閉状態にしてから取付けてください。



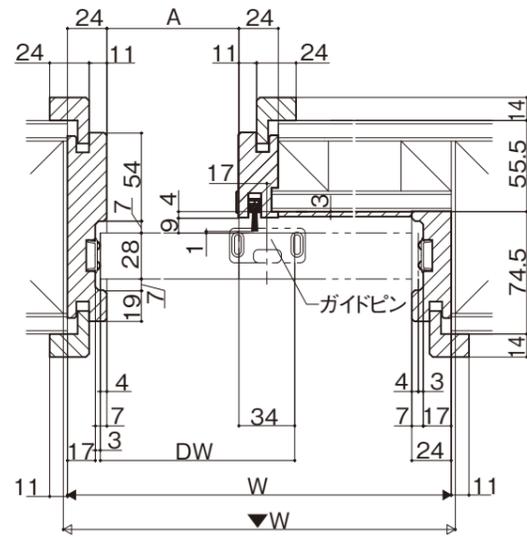
■納まり図

■上吊片引戸標準・幅狭タイプユニット
ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



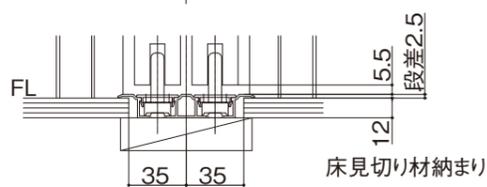
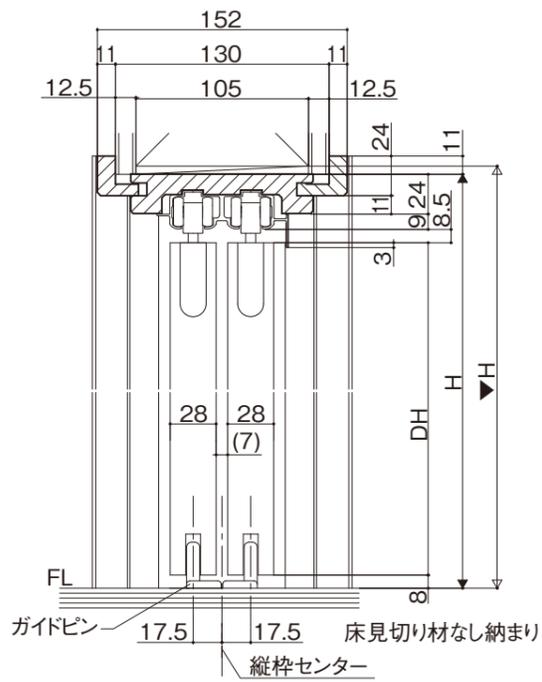
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W12(1188)	553
W13(1324)	621
W14(1454)	686
W16(1644)	781
W18(1824)	871

■ 枠見込み 115mm の設定はありません。

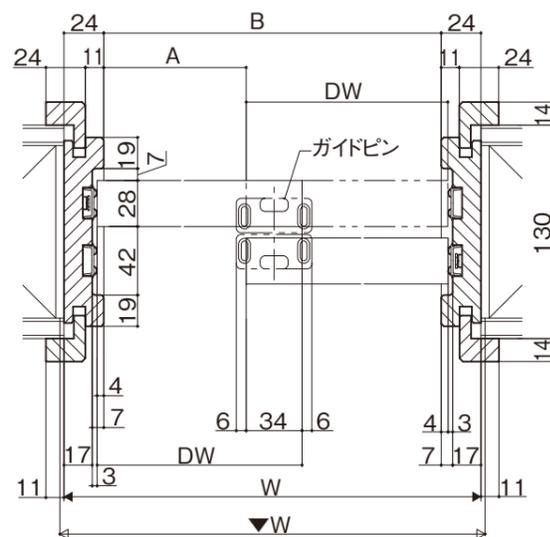
H呼称(枠外寸法)
H20(2023)

■上吊引違い戸ユニット
ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



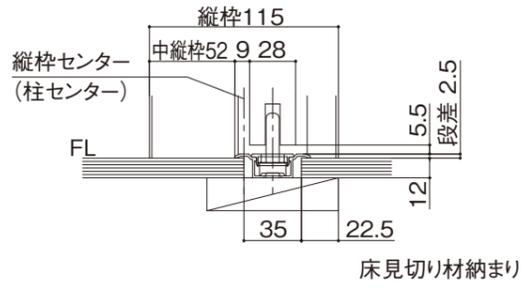
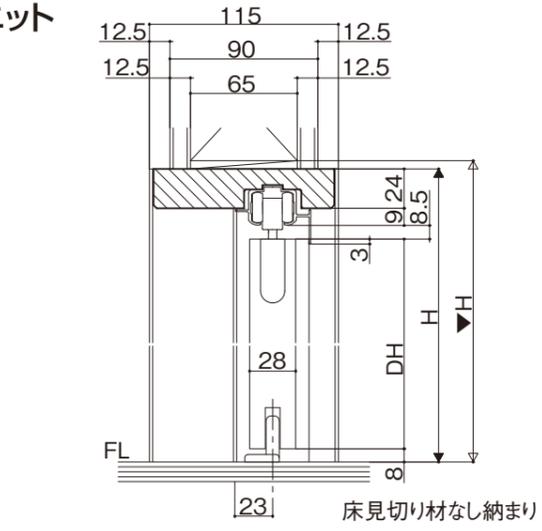
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	781	1596
W18(1824)	871	1776

■ 枠見込み 115mm の設定はありません。

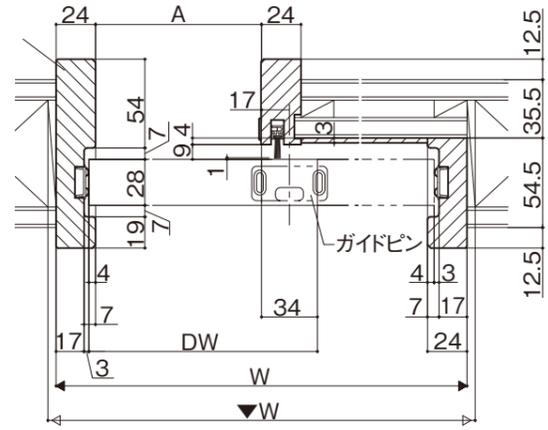
H呼称(枠外寸法)
H20(2023)

■上吊り片引戸標準・幅狭
NC115タイプユニット
ノンケーシング

●縦断面図



●横断面図

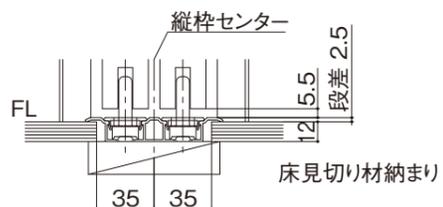
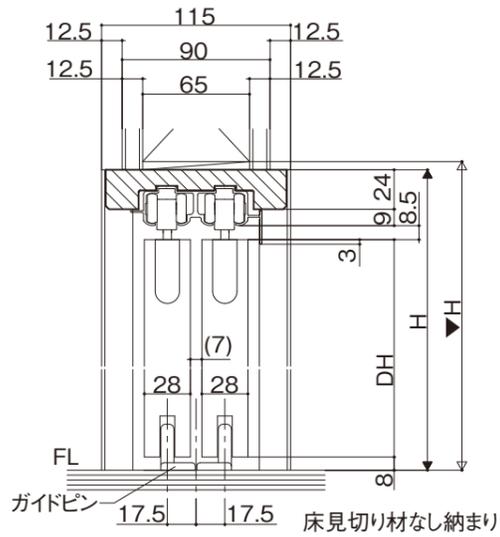


W呼称(枠外寸法)	A寸法
W12(1188)	553
W14(1454)	686
W16(1644)	781

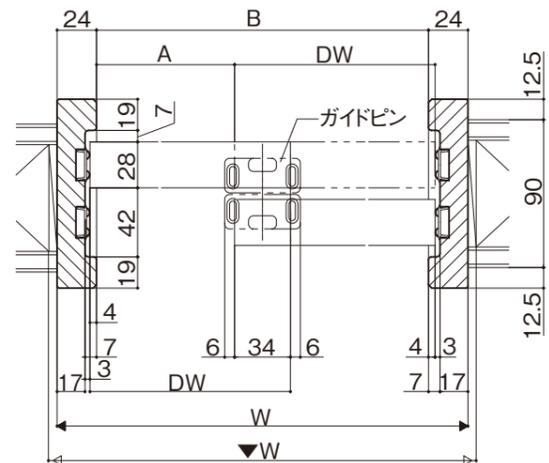
H呼称(枠外寸法)
H20(2023)

■上吊引違い戸 NC115
ユニット ノンケーシング

●縦断面図



●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	781	1596

H呼称(枠外寸法)
H20(2023)